

原田メソッド認定パートナー養成講座を受講した感想と気付きについて

私は「原田メソッド認定パートナー養成講座」を昨年11月下旬に申込み、3月から約2ヶ月間の計4回、2018年収録セミナーに参加させていただきました。その中で、3月4日(日)のセミナー参加を機に私の意識が大きく変わりました。

当初は原田メソッドの考え方とツールを使いこなすテクニック「成功は技術である」を習得し、自分の成功と目標達成だけを考えていました。

しかし、3月4日(日)のセミナーに参加させていただいてからは自分の成功と目標達成だけでなく、自分と関わるすべての方とこの「成功の技術」を分かち合い、シェアしながら成長し、互いに認め合い、応援し合いながら、共に成功し目的・目標達成をしていきたいと考えるようになりました。

今回の原田メソッド認定パートナー養成講座で学んだ一番の結果は、繰り返しになりますが、

『私と関わるすべての方と原田メソッドの「成功の技術」を分かち合い、シェアしながら共に成長し、互いに認め合い、応援し合いながら、共に成功と目標達成をしていく』

この考えを持てるようになったことです。

この考え方を自分軸にすることで、3月4日(日)の初回セミナーで立てた目標「私は2018年5月31日(木)までに、人と企業を繋ぐ仕事を得ます。」を1ヶ月前倒して達成でき、5月1日(火)より新しい職場で仕事に取り組めることになりました。

この考え方を持てるようになったきっかけ、すなわち私のマインドにスイッチが入ったのは3月4日(日)の初回セミナーで「目的・目標の4観点」、「仕事理念の構築」を学び、ワークを進める中で、私の仕事理念「世界基準のビジネスマン、組織作りを支援する熱血プロ集団を作る」という壮大な理念が生まれたことから始まりました。

その壮大な理念「世界基準のビジネスマン、組織作りを支援する熱血プロ集団を作る」を基に目的・目標の4観点を作成すると、今まで作成するのに苦労していた社会・他者の有形・無形の観点がどんどん心の底から湧いて出てきて、さらに私の目的・目標が明確になっていきました。

この壮大な理念は今まで考えたことはありましたが、私になんか無理、もっと安定して自分に合った無理のない仕事をしたいという考えに結局は至っていました。

しかし、今回は、以下のように変わりました

「今の私の力では無理なことは分かっている。道が険しいことも分かっている。しかし、それを克服するために原田メソッドを学んでいる。」

このように意識が変化したことで、時間の使い方から、目の前で起こる出来事の捉え方、

自分の言動、周りの方々との接し方・関わり合い方、すべてが変わり主体的になったと自分で思えるようになりました。これを「主体変容」というのだろうか、と自分で感じています。

今回の転職で私は、次期の会社の売上げの柱を作るための社長直轄 新規事業に取り組むチームリーダーを拝命しました。

まず、自分自信が成果を出します。

そして、次は自分だけでなく、チームだけでもなく、自社が成長していくために、私が原田メソッドの勉強会を社内で開催し、「成功の技術」を皆で分かち合い、シェアしながら成長し合い、互いに認め合い、応援し合いながら、共に成功、目的・目標達成をしていく組織を作りたいと考えています。

今回、原田メソッド認定パートナー養成講座を受講し、成功、目的・目標達成のために必要となる要素2点を気付きました。

それは、①学びの順番、②学ぶ同志、仲間、です。

上記、2つの要素があったから自分の成功・目標達成だけでなく、私と関わる全ての人と共に学び合い、成長し、皆で壮大な理念や目的・目標を達成したいと考えるようになったと思っています。

①学びの順番

原田メソッドは目的・目標達成シートやオープンウィンドウ64、日誌などが有名で成功の5大ツールを使えば必ず成功するという認識をされている方が多くいらっしゃると思っています。

私がそうでした。

しかし、成功するための5大ツールを使いこなして成功、目的・目標達成をするためには、今回の収録セミナーのカリキュラムの順番で学び、ワークをし、実践していかなければ、心の成長が途中で止まるか迷いが出るため継続できず、原田メソッドは難しいものと手放してしまうことになると感じました。一番大切なことは「心の成長」だと思っています。

②学びの仲間

お互いに挫折しないように応援し合うだけでなく、学びをシェアすることで互いの成長スピードが早くなると共に、成功、目的・目標達成は一人ではできないことを一緒に学び合った方々から学ぶことができました。

原田メソッドと一緒に学び合った仲間は私の宝です。

最後になりましたが、原田メソッドを学ぶ機会をいただいたことを関係者の方にお礼を申し上げますとともに、多くのサポートをしてくださったことにお礼を申し上げます。

卒塾課題2を残しておりますが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

以上